



社報

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

亀ヶ池



第3号 [平成19年7月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail : info@kamegaike.jp



境内国旗掲揚塔



祝祭日には国旗を 掲げましょう

いちよう



昨年十一月、神奈川県神社庁設立六十周年記念大会の時、講演された台湾台北出生で、日本国内でもテレビ・新聞・雑誌等において教育・社会・政治など幅広く提言・活動されている金美齡氏のお話の中で、四方を海に囲まれ春夏秋冬と四季がこれほどはっきりとした国は日本だけであり、この美しい国・日本で暮らす日本人が国を愛する心「愛国心」を論ずると、やれ右翼だとか保守派だとか言われるが故に純粋に国を慕い国土を愛する人が引つ込み思案になってしまう。このような国民は他に類を見ないと言われました。また、戦後経済大国となった日本は、五ツ星いや六ツ星の扱いを受け(台湾は一ツ星とか)世界中ビザ無しでも旅行ができ、なんとも幸せな国民だとも言われました。

日本人としての自負心はどこかに行ってしまったのでしょうか。

天皇皇后両陛下が行幸敬なされる時、自然と国旗(日の丸)を振る光景は悠久の日本を実感できて微笑ましい限りです。

日本人たる私たちはこの美しい国土を愛し、自信と誇り・希望を懐いて、国旗を大切にし祝祭日にはご家庭の門戸に「日の丸」を翩翩と翻させたらどうでしょうか。

初詣 賑わう御社頭



平成十九年正月は高気圧の張り出しにより、全国的に穏やかな天候に恵まれ全国津々浦々の神社は老若男女・善男善

節分祭齋行



一足早く梅が咲く二月三日、恒例の節分祭が好天の下盛大に行われ、福を得ようと大勢の参拝者で賑わいました。祭

女の初詣で大変な賑わいとなりました。

当亀ヶ池八幡宮では、昨年九月に東駐車場が完成し、更に近隣各位(全農ミート株様・JA相模原市様等)のご好意により駐車場を確保でき、ご参詣者皆様にはご心配ご迷惑をお掛けすることもなく安心してご参拝できたものと存じます。ここにこのご好意に対し、深く感謝申し上げますととも
に、初詣にお参りくださいました皆様方の家内安全・社運隆昌と益々のご健勝ご活躍を祈念いたします。



典には多くの年男年女が参列しお祓いを受け、追儺台を力強く打ち鳴らし、赤鬼青鬼を退散させた後、神楽殿回り舞台から「福は内・鬼は外」と大きな声を発しながら「豆撒きが行われ、景品引換券が入った福豆袋を授かる」と大勢の参拝者で、境内は歓声と熱気に包まれました。
福物をご協賛いただきました氏子崇敬者各位には誌上より厚く御礼申し上げます。

神社参拝研修旅行

―日光二荒山神社正式参拝―

去る三月二十六日・二十七日に、当八幡宮の役員総代世話人研修旅行を実施し、二十七名の方々が参加されました。この旅行は各地の神社を参拝見学するとともに、相互の親睦を深め神社護持に理解協力することを目的として、毎年執り行われております。

当日早朝、当八幡宮社頭で旅行安全祈願をして一行は出発しました。途中渋滞もなく予定通り日光二荒山神社に到着しました。日光男体山を御神体と仰ぎ祀り、世界文化遺産に登録されております。

御社殿はじめ、五年有余の歳月と七億余万円を費やし完成したばかりの御神橋を渡り、感激に浸りながら日光二荒山神社に昇殿し正式参拝をいたしました。引き続き広い境内の諸社・建物を見学、また日光東照宮を参拝し、早春の日光を堪能した一行は川治温泉にて一日の疲れを癒し夜の宴で親睦を深めました。



翌日は前日の緊張感から開放され、テレビでお馴染みの日光猿軍団を見物、茶目つ気たっぶりの猿の演技に大爆笑でした。続いて竹久夢二美術館に立ち

寄り大正時代に浪漫を追求した天才画家「竹久夢二」の情緒と哀愁ただよう作品の数々を見学し帰途に着きました。今回の研修旅行が意義あるものであったことと拝察し、今後当八幡宮の諸行事・諸事業にご尽力賜りますようお願いいたします。

守れ! 文化財

日本は往古より木造り文化です。住居はじめご社殿また神像・仏像等々、木で作られているものに囲まれています。昭和二十四年一月二十六日に法隆寺金堂壁面が焼損したことから、昭和三十年に「文化財防火デー」が定められました。

当八幡宮では一月二十五日、本殿より火災が発生したとの想定で行われ、消防署への通報や参拝者の避難誘導、文化財の搬出等が行われ、職員がそれぞれの役割を果たしました。相模原市消防本部上溝分署と田名分署の協力のもと、本殿への放水訓練また救命救急訓練も行われました。
「火災はあつてはならないが、いざという時のために訓練も必要。大切な文化財等を守る意識が深まった」と宮司は話していました。

